



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2020 vol.1

2020年の『E.R.F.C.清里ミーティング』は中止いたします

6月某日、本来なら都内で清里ミーティングのキックオフを行う予定だったその日、コロナ禍で直接集まることを自粛しネットミーティングと言う形で実行委員会のメンバーが顔を合わせました。

国内での感染状況も予断を許さない状況で、毎年会場を隙間なく埋める典型的な『密』の状態になっている清里ミーティング。さすがに例年通りの形での開催は難しいだろう。という認識を全員が持つ中、どうすれば・どんな形ならば開催可能だろうかという意見が交わされました。



「参加者を1/3ぐらいに限って互いの距離を広げる工夫をする」「それは競争率が高くなりすぎるんじゃない」「今年は他のイベントも中止が相次ぐ中、清里に限らず開催イベントに参加者が殺到することも考えられるよね」「清泉寮の新館にある、より大きなホールでの開催を検討しては?」「駐車場とのアクセスも悪い上、準備の手間もかかる」「この際、すべて屋外でのイベントにしてしまえば?」「駐車場だけ提供して後は何もしないとか」「11月では寒い可能性が高い。さらに雨天中止もありうる?」「それじゃ清里弁当の提供どうするの?」「いっそ、清里ミーティングもリモートで...」「却下!」

と言うやり取りがあつたりなかつたりする中、どうにか開催の方法は無いかとスタッフ一同意見を交わしましたが、どれも決め手に欠ける中で出てきた一言。

「新型コロナウイルスに対するワクチンや確実な治療が確立しない中で開催しても、参加者もスタッフも楽しめるだろうか」

それまで議論しながらも感じていた何かもやもやしてたものがその一言ではっきりしました。

清里ミーティングはあのロケーションの中で、例年通りに行えるから皆さん来てくれるんだ。自分たちスタッフもそんな皆さんと共に楽しめてるからやってこられたんだ。それが大きな制約の下で、不特定多数の参加者が感染に対して互いに疑心暗鬼な中で行ったとして、それはみんなが心から楽しめるんだらうか。そしてそれは清里ミーティングと呼べるんだらうか。

そして私たちはひとつの結論を出しました。

『2020年のE.R.F.C.清里ミーティングは中止します』

開催を期待してくれている人も多いと思うし、スタッフ自身もその思いは強いものの、現状では問題解決のめどが立たず、このまま当日に向けて多くの人を迎える準備を進めることは困難と判断しました。

継続は力なりとの言葉もありますが、30回継続してきたんだから一度くらい休憩したっていいですよ。

これを機にきつと来年はよりパワーアップ・・・したりはしませんが、新しい生活様式(ミーティング様式?)で各種のリスクと折り合いをつけながら、できる限りこれまで通りに笑顔で楽しめる清里ミーティングを開催できたらと思っています。

ですから再開の折りには、是非また清里でお会いしましょう！

(E.R.F.C. 清里ミーティング実行委員長：まめぞう)

『編集後記』

そんなわけでこれを書いている今もあいかわらず全国で新型コロナウイルスの新規感染者数は増えています。愛知在住の自分も長年電車通勤をしていたのですが、国内での感染が広がりだした3月から、会社の指示で車通勤することになりましたよ。ええ、もちろん元年度のNAで！

おかげで毎日片道35kmのドライブを満喫・・・と書く楽しそうですが、実際は通勤で朝から混みあう都市高速の高架下やビルの立ち並ぶ道ばかり。名古屋市のど真ん中を貫いて北から南へと縦断するルートなので車が多くて走行ペースが上がらない。さらに頻繁に信号で止められるので、通勤時間の実質的な平均時速は20km/h以下。電車通勤の時より30分も早く出かけるのに、職場に到着するのは電車通勤よりも遅くなるのが普通って具合。同じ距離でも飛騨や信州のドライブルート(大雨の影響で今は大変ですが)なら信号も少なく、普通に走っても1時間掛からないんですけどね。

それでも少しでも楽しい気分で通勤したいってことで好きな音楽掛けながら、雨が降ってさえいなければ周りの目なんかは気にせず原則オープンで通い続けましたよ。そう、オープンなら3密も避けられますし。(笑)

元々週末しか乗らなくて、特にここ10年程は年間3千km程度しか走ってなかったのに、この4カ月で約6千km走破。久々に酷使しちゃったかな、とも思ったけれど、車通勤を始めた頃にヘッドライト(社外品のH4に換装済み)の球切れが起きた以外は全然問題もなくどちらかと言えば絶好調です。そろそろネオクラシック扱いされつつあるとは言え、さすがは日本車！さすがはマツダ！ですね。

一度は感染状況もいづらか落ち着くかのような様子を見せたので一旦電車通勤に戻したものの、再び感染が広がりを見せているこの状況では車通勤に逆戻りの可能性も。また休日にしても車を使っての遠出は躊躇せざるを得ず、ミーティングはもちろん個人で清里方面へと遊びに行けるのもこれではいつになることか。それでも今はあせらず、愛車を洗車したりメンテナンスしたり可能なら時々プチ遠出なんかも楽しみながら、その時を待ちましょう。

直接会えなくてもきつと思いは一つ。幌を開ければそこは青空！ぜひそれぞれの空の下でお会いしましょう。

(E.R.F.C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信
2020 vol. 1 2020年7月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp